



◆生育状況については果樹総合情報を参照

M9の生育状況（長野県果樹試験場）

	発芽	展葉	満開	備考
平年	3/17	4/9	4/29	1991～2020年の平均
令和2年	3/9	4/4	4/30	
令和3年	3/8	3/28	4/22	
令和4年	3/17	4/7	4/22	
令和5年	3/12			平年より5日早い

過去の発芽時期 瀬原田・真島のふじ

令和4年	令和3年	令和2年	平成31年
3月26日	3月22日	3月21日	3月26日

平成30年	平成29年	平成28年	平成27年
3月26日	4月6日	3月24日	3月25日

◆当面する重点作業について

1. 切り口には必ず塗布剤を塗布する。
2. 防霜ファンが正常に作動するか確認する。
3. 燃焼材料の準備を行っておく。
4. 開花時期の品種差が平年と大きく異なることもあるので、人工受粉を行えるように準備しておく。
越冬花粉の配布については後日お知らせします。
5. 新しい化栽培では、そろそろせん定作業を行う。
特に樹勢が強い場合は、4月～5月に太枝(2cm以上)のせん定を行う。
6. 新しい化栽培でフェザーが水平になっている場合は、フェザーが下垂するように誘引を徹底する。
7. フラン病対策を行う。燃焼・削る・泥まきなど。
8. メンチュウ(ワタムシ)対策として、主枝・亜主枝等の太枝の背面にある徒長枝の切り株を、ノコギリでキレイに切り取っておく。
9. うどんこ病の被害枝除去を行う。

◆第2回目展葉始め（発芽10日後頃）の散布について

1. 散布時期・・・4月上旬 展葉始め（発芽10日後頃）
図のような葉が2～3芽確認できた頃が防除適期
2. 調合量・・・水100ℓ 当り 散布日 月 日

展着剤	・・・	10ml
コロナフロアブル	・・・	250ml うどんこ病
⑩ペフラン液剤	25	・・・100ml 黒星病
3. 散布量・・・10a当り ⇒ 350ℓ
4. 留意事項



- ①コロナフロアブルに代えてイオウフロアブル500倍（水100ℓ当り200ml）でも良い。
- ②黒星病は降雨と密接な関係にあり、降雨が多く濡れ時間が長いと感染しやすい。

薬剤防除は、今回から5月下旬までが特に重要になる。

ここで菌密度を高めてしまうと、以後の感染拡大につながるため注意する。

◆特別散布について（黒星病対策）

1. 散布適期・・・第2回展葉始めの散布から開花直前までの散布が10日以上開く場合は、第2回散布から7日後に特別散布する。

2. 調合量・・・水1000ℓ 当り 散布日 _____ 月 _____ 日

〔 展 着 剤 10ml
アトラコール顆粒水和剤 200g（黒星病）

3. 散布量・・・10a当り⇒350ℓ 以上

4. 留意事項・・・降雨が多くあった場合や黒星病が目立つ地域は必ず散布を行う。

◆新しい化栽培（高密植栽培）の施肥について（全品種共通）

施肥時期	肥料名	施肥量(10a当)
3月下旬から4月	有機専科	2袋
	果樹の力	2袋

留意事項 ①有機専科に代えてグリーン長野果樹専用有機入り72を1袋でもよい。

ただしその場合は3月上旬が本来の施肥時期のため早急に施肥する。

②主幹伸長の状況や土壌診断結果を参考に樹勢に応じた施肥を行う。

近年樹勢の低下や品質低下が多い傾向。基本となる栽培管理（誘引・摘花・摘果・着果量・葉摘み・収穫など）を正しく行い目標収量の5～6トン/10a当を目指す。

◆新しい化栽培講習会開催について

期 日	曜	時 間	開催場所	担当
3月27日	月	午前9時30分	篠ノ井会 あいアップル様園	寺沢
3月27日	月	午前11時	若穂中学校前 千原良治様園	松坂

上記以外の地区は個別に実施しますので、果樹技術員までお問い合わせください。

《栽培に関する問合せ》

根津(信更):080-1203-8576/寺澤(篠ノ井西部):080-1188-5229/外谷(篠ノ井):080-8048-6602

福田(若穂):282-2002/佐藤(川中島):090-7179-9866/丸山(更北・松代):080-1202-0260

松坂(全域・編集担当):080-1188-4131/営農部(本所):292-0930

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所/生産販売部(本所):292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済課/農業資材課:299-3311

支部役員様へ

りんご部会（役員）定期総会（本部会）が3月29日に開催されます。本来ならば全役員様が参集範囲となりますが、コロナ禍で感染リスクを減らすため参集範囲を縮小して本部会役員のみで開催致します。出席者へは別途通知いたします。